

『第7回みどりと花の県民運動大会』に参加しました

福井水源林整備事務所は、平成29年6月4日(日)に福井県総合グリーンセンターで開催された、『第7回みどりと花の県民運動大会(主催:みどりと花の県民運動大会および第23回全国花のまちづくり福井大会実行委員会)』に参加しました。

本イベントは、第60回全国植樹祭(平成21年6月7日開催)を契機に展開している「みどりと花の県民運動」を推進することで、一般の方が広く参加し、森林や花に親しみ、その大切さを再認識することを目的としています。本年については、平成30年秋に開催予定の国体・障スポや、北陸新幹線の敦賀開業に向けて、県内全域の花のまちづくりに対する機運の向上を図ることから「第23回 全国花のまちづくり 福井大会」が併せて開催されました。

当事務所はブースを設け、水源林造成事業に関するパネル展示等を行い、多くの参加者に水源林の果たす役割の紹介や、水源林造成事業のPRを行いました。また、木製コースターの製作・絵付けの体験を通して、木の温もりを直にふれて楽しんでいただきました。



木製コースターの製作・絵付けの様子

昨年に引き続き、森林に関するアンケートを実施したところ、「間伐の推進」や「公的な関与による森林整備」に期待する意見が多くあるなど、水源林の重要性と森林への関心が進んでいるように感じられました。



森林に関するアンケートの様子

今後もこのようなイベント等の機会を利用して、より多くの県民の皆様へ、水源林の重要性や森林整備の必要性について理解を深めていただけるよう取り組んでまいります。